

東京芸術大学卒業・修了制作作品 市長賞作品決定

☎文化芸術課 ☎内線1292

東京芸術大学の卒業・修了制作作品に贈られる取手市長賞に、小林このみさんの「あなたのことがだいすき」と、伊藤寛人さんの「boundaries」が選ばれました。

市長賞は、毎年学生が作る個性豊かな作品の中から、東京芸術大学の推薦を参考に選定しています。受賞作品は市に寄贈され、3月下旬からとりでアートギャラリー（ボックスヒル取手4階）に展示されます。過去の市長賞受賞作品は市内各地に展示されています。展示場所は市ホームページで紹介しています。

市長賞作品一覧



◆選定会を実施

1月28日、東京都立美術館と東京芸術大学美術館で、市長賞の選定会が行われました。選定会は、東京芸術大学卒業・修了作品展に展示されている作品のうち、東京芸術大学から推薦された14作品を市長・教育長が見て回り、市長賞2点を選定しました。



会場では、制作者が実際に作品の魅力を説明し、市長たちと質疑応答を行いました。

説明する小林さん(写真左)



あなたのことがだいすき 工芸(漆芸)
(漆・高さ92cm×幅125cm×奥行125cm)

小林 このみさん
美術学部工芸科4年漆芸専攻



平成31年2月、春休み中に辛いことがあり、学校に行ったときに、皆さんから心配や励ましの言葉を受けました。「周りに人がいることで自分が自分らしくいられること」や「今、この恵まれた環境にいられること」への感謝や愛を強く感じ、その思いを表現しようと制作しました。社会という群れをなす一員としての意味を持つ羊を自分と重ね合わせ造形しました。立体の表面に施された模様は「感謝」や「愛」の花言葉を持つ花を配しました。

発掘 ほどよく 絶妙とりで vol.33

ほどよく 絶妙とりで

☎魅力とりで発信課 ☎内線1191

50周年を絶妙に盛り上げましょう

10月1日に市は市制施行50周年を迎えます。取手市が生まれて半世紀ともなると、市内ではいろいろ大きな変化がありました。



平成8年撮影

この写真、どこだと思いますか？下の写真が、同じ場所から撮影した現在の写真です。



令和2年撮影

そうです、取手ウェルネスプラザの北東から取手駅西口方向に向かう風景です。平成27年10月に取手ウエ

ルネスプラザがオープンするかなり以前には茨城県学生寮があり、その役割を終えた後も、17年には取手アートプロジェクト(TAP)の「TAPヒルズ」として活用されました。当時、今のように整備された風景を想像できたでしょうか？

このように、まちは長い年月の中でどんどん変化していくものです。取手駅西口駅前もいよいよ開発が始まり、50周年を挟んで取手はさらに大きく変わろうとしています。

50周年のキャッチフレーズは「50周年 あなたの手 わたしの手 共に作ろう未来の取手」。これまでの50年を振り返ると共に、これからの取手についても思いをこめて、手を取り合って一緒により良い未来を作っていきましょう。

なお、取手ウェルネスプラザには、県学生寮の頃からあった桜が今も残されています。ぜひこの機会に取手駅周辺で、50年という取手の歴史を感じ取ってみたいはいかがでしょうか。



boundaries 日本画
(土佐麻紙、膠、岩絵具、銀箔、金泥、銀泥)
・高さ181.8cm×幅227.3cm)

伊藤 寛人さん
美術学部絵画科4年日本画専攻



昨年の夏に瀬戸内を訪れました。建物の中から外へ出て歩き出した数秒間、印象的な景色を見かけました。とても日差しが強く、対面にあった飲食店の壁や外に置かれた看板、植物などがとても明るく見えました。一方で、窓の中だけがとても暗く、吸い込まれるように見えたのです。少しの間だけ出会うことができた、普段と違った見え方をする景色に興味を引かれたのがきっかけとなり、この作品を制作しました。

